

獨協大学では施設や窓口に対する満足度を調査し、課題を発見するために毎年「学生による教育環境改善のためのアンケート」を実施し、翌年度の改善活動に反映させています。2021年度教育環境改善の取り組みおよび2021年度末に実施したアンケート結果についてご報告いたします。

【2021年度教育環境改善の取り組み】

■ 授業関連施設

- アリーナおよび人工芝グラウンドについて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「企画書」という記入フォーマットを導入し、学友会の各団体がイベント等を実施する際にはその企画の概要と感染症予防の体制、対策を確認する取り組みを始めました。
- 図書館について、感染予防対策の特別ルールのもと、館内一部施設の利用を再開しました。
- ICZ(International Communication Zone)について、コロナ前の雰囲気にしてほしいという要望もあり、3階については、秋学期からできる限り通常のICZの運用に近づけるように対応しました。

■ 学生生活施設

- 食堂施設については、春学期は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、学生食堂の営業はほとんどできなかったため、教職員食堂の学生利用を拡大しました。秋学期は学生食堂での弁当販売のほか一部メニューの提供開始など、感染状況と学内の学生数を勘案しながら営業を行いました。
- 学生センター2階のトレーニングルームについては、利用講習会の参加予約を予約システムDOORSにより受け付けることとし、学生の利便性向上を図りました。

■ 窓口対応

- 「挨拶」、「丁寧」、「正確」のスローガンと教育的配慮に基づいて、学生のみなさんとの良好な関係づくりや、積極的な情報発信などに取り組みました。
- 学生のみなさんからの指摘やご意見について各部課室で話し合いを行い、速やかな改善に取り組みました。

【2021年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」】

■ 実施概要

学生ポータルサイトPorTallを利用し、学部生、大学院生、聴講生など7,799名を対象に21年度末にアンケートを実施しました。回答率は約10.7%で834名のみなさんから回答をいただきました。

■ アンケート結果概要

各設問に対する回答者全体の満足度の結果は **グラフ** の通りです。21年度は多くの授業がコロナ禍のため、対面とオンラインを併用した授業形態でした。

結果詳細および「自由記述に対する事務局からのフィードバックコメント」については、獨協大学HP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページ内にある「学生による教育環境改善のためのアンケート」をご覧ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>



■ 今後について

今後は「事務局自己点検・評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく課題を抽出し、その検討および改善に取り組みます。

